

の主張

将来に向かって学べるのは 家族の支えがあったからこそ

私は、大学進学をきっかけに川根本町を離れ一人暮らしをしています。大学では、リハビリテーション学部・作業療法学科に在籍し、作業療法士になるため勉強しています。

私は、川根本町を離れたことで、気付かされたことが二つあります。一つ目は、町内の方々が優しく、いつも温かく接してくれるということ。私は初めて出会った方でも、積極的にコミュニケーションができると思っていますが、これは自分の長所だと考えています。この長所を作り育ててくれたのは、家族や友人はもちろん、町内の方々の関わりがあったからこそと思っています。小学生の頃、下校中に「こんにちは。おかえり」と声をかけてもらったこと、他の人から見れば何気ない日常の一部だとも思います。ですが、私にはとても貴重な時間だったと、この町を離れて気付かされました。そのような経験をさせてくれた町の方に、本当に感謝しています。

二つ目は、自然が豊かなことです。様々な動植物の美しさやあたりま

えに広がる雄大な自然の風景は、川根本町だからこそ見ることができるとは素晴らしい景色です。川根本町を離れたことで、一層そのすばらしさに気が付くことができました。そのような美しい自然は、川根本町の財産の一つだと感じています。

私は、この先出会う全ての人たちに、川根本町でしか見ることができない風景を胸を張って紹介していきたいと思っています。

さて、私がこの成人式を迎えるにあたって感謝の気持ちを伝えたい人たちがいます。それは家族です。私が今、大学で将来のために学ぶことができるのは、家族の支えがあるからです。今までどんなときも変わらず私を応援してくれ、家族の存在は、とても心強く、感謝をしてもきれません。

私たちは本日をもって、成人の仲間入りを果たします。時には辛く困難な状況に陥ることもあると思いますが、しかしその度に、そんな困難に立ち向かい、乗り越え、明るい人生を歩んでいくことを強く誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

新成人

子ども1人1人に寄り添える 保育士になれるように

本日は私たち新成人のためにこのような素晴らしい式を催していただきありがとうございます。菌田町長をはじめ、ご来賓の皆さまからの温かい励ましのお言葉をいただき、心から感謝申し上げます。また昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で大変な状況の中、開催に向けてご尽力いただいた関係者の皆さまにも感謝を申し上げます。

さて、私は大学進学を機に、川根本町を離れ一人暮らしを始めました。その中で、気付いたことは川根本町に住む人たちの温かさです。川根本町で暮らしていた時は、地域の方とあいさつをしたり、何気ない会話をしたりすることは当たり前前のことでした。しかし、この町を離れてみると、地域の人との交流はほとんどなく、改めて川根本町の人たちが温かく接してくれたのだと知ることができました。

現在、私は常葉大学短期大学部保育科で保育について学んでいます。二年間で保育園やこども園、幼稚園、乳児院などの施設での合わせて五回の実習に加え、学生自ら企画して行う自主実習を何度も

行ってきました。実習を重ねる度、子どもたちが少しずつ心を許してくれるうれしさや一人一人と向き合う大変さなど、多くのことを学ぶことができました。入学前は誰ひとり知っている人もおらず、とても不安を感じていましたが、今では本当に大切だと思える三人の友人に出会うことができました。三人がいることで、実習中も相談し合い、お互いを励まし合いながら目標に向かって頑張ることができました。同じ夢を持つ三人の存在は、私に自信と力を与えてくれる、とても大きなものだと思っています。

私は、小学生の時から夢を叶え、四月から保育士として働きます。これまで学んできたことを活かし、子ども一人一人に寄り添うことができる保育士になれるように、これから頑張っていきたいと思っています。

最後に、今まで育ててくれた故郷に恩返しができるよう日々励むとともに、立派で責任感のある大人を目指して、精進していくことを誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。